

令和5年度 部長政策宣言 中間報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

会 計 管 理 者

教育委員会事務局長

消 防 長

市民病院事務局長

令和 5 年度 企画管理部長「政策宣言」 中間報告

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和 5 年度重要事業

事業名	第 3 次射水市総合計画の推進
目 標	第 3 次射水市総合計画に掲げる主要施策を効率的・計画的に実施するため、各事業の年次計画となる前期実施計画（令和 5 年度～令和 9 年度）を策定します。また、市民アンケートによる施策の満足度等を調査し、施策の進捗管理に努めます。加えて、広く総合計画の周知を図るため、タウンミーティングの開催やアニメーション動画制作等に取り組みます。
進捗状況	総合計画の基本構想・基本計画の内容を踏まえた前期実施計画（令和 5 年度～令和 9 年度）を策定し、市議会 6 月定例会にて報告し公表しました。 7 月には、市長からその内容について直接説明し、意見を聞く「市長のタウンミーティング」を開催しました。 また、計画を広く知っていただくため、市民に馴染みのある本市公式 Vチューバー「いみず雫」が出演する周知用のアニメーション動画を制作し、10 月 1 日から公開しています。
今後の対応	本市の施策に対する市民の満足度について調査するとともに市民アンケートを実施するなど、施策の進捗管理と将来の計画見直しに備えます。

事業名	行財政改革の推進
目 標	第 3 次射水市総合計画の実効性を高めるため、第 5 次行財政改革大綱及び集中改革プランを策定し、着実に行財政改革を進めます。
進捗状況	行財政改革推進会議での審議を経て第 5 次行財政改革大綱及び集中改革プランを策定し、9 月に公表しました。
今後の対応	第 5 次行財政改革大綱及び集中改革プランに掲げた取組を着実に実行し、引き続き行財政改革を推進してまいります。

事業名	定員適正化計画の策定
目 標	高度化・多様化する市民ニーズへの対応やデジタル技術を活用した業務の効率化等に加え、定年年齢の段階的な引上げによる影響も見据えながら、新たな定員適正化計画を策定します。
進捗状況	現在の年齢別職員構成や今後の退職予定者数、育児休業の取得状況など職員のワークライフバランスの在り方等、定員管理における課題を整理し、今後の定員適正化に関する基本的な考え方を取りまとめました。
今後の対応	市議会 12 月定例会後の公表に向けて計画策定に取り組みます。

令和5年度 財務管理部長「政策宣言」中間報告

財務管理部長 北 辰巳

○ 令和5年度重要事業

事業名	税財源の確保及び健全で持続可能な財政運営
目 標	昨今の社会情勢が及ぼす市税への影響の把握に努めるとともに、引き続き、公平・公正な課税の実施に努め、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のため、多様な納付環境の整備と滞納整理の強化を推進し、市税等の収納率向上を図ります。 また、第3次射水市総合計画及び前期実施計画を踏まえ、中期の財政見通しを策定し、健全で持続可能な財政運営に努めます。
進捗状況	公平・公正な課税に努めるとともに、新たに固定資産税及び軽自動車税の納付書に地方税統一QRコードを印字するなど納付環境を整備し、納税者の利便性の向上に努めました。 また、今後の公債費負担の軽減を図るため、9月補正において市債の繰上償還に係る経費を予算化するなど、将来を見据えた財政運営に努めました。
今後の対応	引き続き、公平・公正な課税に努めるとともに、滞納処分を適正に執行し、また、現年度課税分の未納催告を強化するなど、収納率の向上に努めます。 物価高が継続するなど引き続き厳しい財政運営が想定される中、将来を見据え、健全財政を堅持していく取組を進めます。

事業名	防災・減災対策の推進
目 標	地域振興会などの地区の住民等により、地区の特性や想定される災害を踏まえ、平常時から防災活動体制を構築するなど、地域が主体で行う防災活動について定める「地区防災計画」の策定を推進するとともに、防災士の育成・養成に取り組むなど、地域の共助による地域防災力の向上及び災害時における迅速な対応の確保に努めます。
進捗状況	地区防災計画については、地域振興会連合会理事会での作成依頼や地域振興会との個別協議等により、2つの地域振興会で作成に着手されました。 防災士の育成・養成については、地域振興会に新規防災士の推薦を依頼し、推薦のあった7名について、資格取得に係る研修の受講や試験への支援を行いました。
今後の対応	引き続き、地区防災計画の作成に着手した地域振興会と連携し取組を進めるとともに、他の地域振興会とも協議を行うなど、計画作成を推進します。 また、防災士の育成・養成に向け、新規防災士の登録支援等を行います。

事業名	公共施設等マネジメントの推進
目標	公共施設包括管理業務による施設の安全性向上や業務の効率化を図り、市民サービスの向上に努めます。 また、広く民間事業者との連携を深め、公民連携による公共施設等のマネジメントを推進します。
進捗状況	包括管理業務については、施設の巡回点検やきめ細やかな修繕により、施設の安全性向上や、施設担当課の業務の効率化に努めています。 また、民間提案事業においては、昨年度に採択した12案件のうち、7件の事業化を図り、公共施設の脱炭素化やコスト削減などにつなげました。
今後の対応	引き続き、包括管理業務委託による公共施設の安全性の向上等に取り組むとともに、民間提案事業については、協議中の案件の事業化や今年度の提案事業の審査・協議等に取り組みます。

令和5年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和5年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりと都市間交流の推進
目標	性別や国籍に関わらず、だれもが個性や能力を発揮し自分らしく暮らすことのできるダイバーシティ社会を実現するため、引き続き、女性リーダーの育成やネットワークづくりを推進するほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。また、台北市士林区をはじめとした友好・姉妹都市と、幅広い分野での交流促進を図ります。
進捗状況	昨年度に引き続き「いみずキャリアステップ応援塾」を開講し、12月まで5回のワークショップを行います。また、今年度新たに女性の地域活動における参加を後押しする「女性活躍推進セミナー」を8月に、外国人住民との相互理解を進める「多文化共生のまちづくり交流会」を7月に開催しました。 9月には台北市士林区を訪問し、来年度の友好提携5周年記念式典開催に向けた意見交換や本市の魅力PRなどを行い、今後の幅広い交流の展開について確認しました。
今後の対応	引き続き、女性活躍や多文化共生の推進など、性別や国籍にかかわらず、市民の誰もがいきいきと活躍できる環境づくりに努めます。

事業名	地球温暖化対策地方公共団体実行計画の策定
目標	本市のカーボンニュートラル実現に向け、市民、事業者、行政が総合的かつ計画的に取り組む具体的な施策について検討し、本市の温室効果ガス排出量の削減に向けた計画を作成します。
進捗状況	市民や事業者を対象とした地球温暖化に関するアンケート調査を実施したほか、学識経験者、関係事業者及び市民の代表者等で構成する射水市地球温暖化対策実行計画策定検討会を設置しました。9月には第1回検討会を開催し、計画の基本方針、施策・取組、取組指標について協議しました。
今後の対応	引き続き、策定検討会において協議を重ね、本市の特性や課題を踏まえた施策を盛り込んだ計画の策定に向けて取り組みます。

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目標	射水市D Xビジョンに掲げた、A I を活用したオンデマンドバスの導入に向けた実証運行に取り組んでまいります。 また、引き続き、高齢者等の近距離移動手段確保の取組に対し支援するとともに、越中大門駅のバリアフリー化に取り組むなど、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に努めます。
進捗状況	現在、A I オンデマンドバス（のるーと射水）の実証運行を行っており、今後の本格運行に向けて、事業の効果、検証を進めていきます。 また、越中大門駅のバリアフリー化については、実施主体であるあいの風とやま鉄道（株）と連携し、詳細設計に取り組んでいます。
今後の対応	高齢者等の近距離移動の取組に対する本市の支援制度を一層啓発するとともに、A I オンデマンドバス（のるーと射水）の周知、啓発に努めるなど、引き続き、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に向け取り組みます。

事業名	スマート窓口の推進
目標	市役所窓口の手続時に届出・申請書類を一括して作成できる「窓口支援システム」（書かない窓口）を本庁舎に導入し、来庁者及び職員の負担の軽減、所要時間の短縮を図り、市民の利便性向上に努めます。
進捗状況	窓口支援システムの構築事業者を公募型プロポーザル方式により選定し、現在、検討を重ねながらシステムを構築しています。
今後の対応	令和6年2月中の運用開始に向けて、システムの構築を進めます。

令和5年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和5年度重要事業

事業名	5つの福祉・健康計画の策定
目 標	市民ニーズを捉えた、より効果的な福祉施策を展開できるよう「射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」、「第3次障がい者基本計画及び第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」、「国民健康保険 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第4期特定健康診査等実施計画」を策定します。
進捗状況	各計画について、ニーズや課題把握のためのアンケート調査等を実施し、それぞれの策定委員会等で基本理念や基本目標等を確認しました。
今後の対応	策定委員会等における素案についての意見交換やパブリックコメントを行い、それらの意見を踏まえ、地域共生社会実現に向けて、それぞれの計画を策定します。

事業名	子育て支援の推進
目 標	産後の心身の負担軽減や孤立を防ぐため、保健師や助産師等の専門スタッフによる相談や産婦同士のつながりを作る場を提供する産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」を新たに実施します。 また、物価高騰の長期化を踏まえ、保育所等の副食費の補助を継続するとともに、必要な経済的支援について適切かつ迅速に取り組めます。
進捗状況	産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」については、9月末まで6回開催し、親子64組の参加がありました。専門職による講義や個別相談のほか、楽しいイベントを取り入れ参加者同士の交流の場となるように努めています。 また、保育所等の副食費については、食材料費値上がり相当分を施設に対し迅速に補助したことにより、保護者への負担転嫁を回避することができました。
今後の対応	引き続き、産婦の心身の安定や孤立の防止に努めます。 あわせて、給食の質を確保するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

事業名	全ての世代の健康増進と健康寿命の延伸
目標	糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症及び重症化予防等の保健事業に積極的に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。 また、働き盛り世代を中心に、自分の健康状態をモニタリングできる「健康アプリとウェアラブル端末を活用した健康管理」を実施し、健康増進を図ります。
進捗状況	生活習慣病の中でも特に「糖尿病」については、広報、ケーブルテレビ、図書館展示等による普及啓発とともに、保健指導の対象となる方には食事や運動等の生活習慣について個別にアプローチを行っています。 また、健康アプリとウェアラブル端末を活用した「いみずヘルスアップ+（プラス）事業」の成果として、参加者の半数以上が1日の平均歩数8,000歩超え、取組前より9割以上が歩数増加、半数以上が睡眠時間増加等、生活行動に変化が現れています。
今後の対応	今後もさまざまな取組により地域や個人に働きかけることで健康無関心層にもアプローチを図るよう努めます。 また、市民の皆さんが自ら楽しみながら健康づくりを継続できるよう支援します。

令和５年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 塩谷 明永

○ 令和５年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の実施
目標	原油価格・物価高騰により、多大な影響を受けている中小企業や個人事業者及び市民の方に対し、的確な支援を実施することにより、地域経済の活性化を図ります。
進捗状況	市民生活及び市内中小事業者等の経営を支援するため、市商工協議会と連携し「いみずまるごとデジタル応援券」の事業を実施することとし、６月補正予算に計上するとともに、１０月下旬からの利用開始に向けて準備を整えました。
今後の対応	社会経済情勢等を的確に捉え、引き続き中小企業や個人事業者への支援に努めます。

事業名	観光の振興と移住定住の促進
目標	道の駅周辺エリアへ宿泊施設を誘致するほか、多様な観光資源を磨き上げ「稼げる観光」の実現に取り組みます。併せて、本市での暮らしの魅力発信や移住体験機会の提供を行うなど、移住希望者に選ばれるまちを目指します。
進捗状況	道の駅周辺エリアについては、公募型プロポーザルにより宿泊施設を整備する事業者を選定したほか、道の駅新湊等のリニューアルに向け準備を進めました。また、国の補助金の採択を受け、観光協会と連携し稼げる観光につながる魅力的な観光コンテンツの造成に着手しました。 移住や空き家に関する様々な相談、情報発信等に関するワンストップ窓口の設置を含む（仮称）移住・空き家トータルサポート業務の実施に向けた準備に着手しました。
今後の対応	令和７年度中のホテル開業に向け、ホテル事業者と協議を重ねるとともに、公民連携手法による道の駅新湊等のリニューアルに引き続き取り組みます。 （仮称）移住・空き家トータルサポート業務の実施に向け、事業公募のための準備を進めます。

事業名	農林水産業の推進
目標	地域農業の将来ビジョンとなる「地域計画」策定についての取組や、アグリテックバレー構想に基づく農業の成長産業化実現に向けた取組を推進するとともに、水産業における資源管理型漁業の支援を行う等、いみずのブランド力向上と持続可能な農林水産業の推進に努めます。
進捗状況	農業では、地域計画を策定するために必須となる協議の場の設置に向け、構成や運営体制を整えるなど、協議に入る準備を進めました。また、アグリテックバレー構想に基づき、食香バラやサツマイモの産地化に係る生産技術の研究や市場開拓等の取組について支援しました。 水産業では、シロエビを対象魚種とする水産エコラベル漁業認証申請が認証機関に提出され、審査を受けており、今年度中の認証を見込んでいます。
今後の対応	地域計画策定に向け、計画的に地域と協議を進めていくとともに、引き続き、農林水産業が抱える課題解決に努め、経営の安定化など、持続可能な農林水産業を推進します。

令和5年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 小川 昌男

○ 令和5年度重要事業

事業名	安全・安心な道路整備
目標	暮らしに密着した道路や、地域連絡道路及び公共施設等へのアクセス道路の整備を行い、利便性の高い道路網の構築を図ります。 また、射水市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の定期点検や修繕及び、幹線道路の舗装補修を推進し、誰もが安全で快適に通行することができる道路交通の確保に努めます。
進捗状況	1路線の舗装工事と1橋の長寿命化修繕工事を実施しました。 また、2路線の道路改良工事、1路線の舗装工事、2橋の橋梁長寿命化修繕工事を実施しています。
今後の対応	引き続き、道路改良工事（3路線）、舗装工事（1路線）、橋梁長寿命化修繕工事（3路線）を実施し、利便性向上や安全で快適な道路交通を確保に努めます。

事業名	木造住宅の耐震化と市営住宅の長寿命化
目標	災害に強いまちづくりを推進するため、引き続き木造住宅の耐震化を促進します。 また、市営住宅については、長期にわたり住み続けられる環境を整えるため、「射水市公営住宅等長寿命化計画」による適正管理を進めます。
進捗状況	災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震改修に対して5件、危険ブロック塀の撤去に対して1件、老朽危険空き家等の解体に対して4件の補助を実施しています。 また、市営住宅の長寿命化については、殿村市営住宅2号棟で屋上防水工事、赤井市営住宅で給湯器の取替え工事を実施しています。
今後の対応	引き続き、木造住宅の耐震化等を促進し、災害に強く安全で快適な住環境づくりに取り組みます。 また、市営住宅の長寿命化については、日常における点検と計画的な修繕を実施し、ライフサイクルコストの縮減につなげていきます。

事業名	賑わいと生活環境の充実
目 標	地域の賑わい創出や健康づくり、レクリエーション等、多様な機能を有する公園について、計画的な施設の更新や補修等により、利便性の向上を図り、安全でくつろぎ憩える環境づくりを推進します。 また、長期的な視点から、緑地の保全や緑化の推進を図るため、「緑の基本計画」を策定します。
進捗状況	公園施設は「射水市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具やトイレ等の更新を実施しています。 また、「緑の基本計画」は、市民の意見を計画に反映させるため、市民アンケート調査を行いました。
今後の対応	引き続き、計画的に事業を進めるとともに、足洗潟公園北側トイレの更新は、年内の完成に向けて整備を進めます。 また、「緑の基本計画」は、年内に素案を作成し、年度内の策定を目指します。

令和5年度 上下水道部長「政策宣言」中間報告

上下水道部長 南 和彦

○ 令和5年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	水道管路を積極的に更新するとともに主要施設の設備更新を実施し、安定給水と耐震化の推進に取り組み、水道施設の強靱化を図ります。
進捗状況	配水管更新事業では、新たな国庫補助金の活用により西部幹線更新事業に着手するなど更新工事を積極的に実施しています。 また、施設整備事業では、上野調整場及び日の宮受水場無停電電源装置更新工事を発注し、整備を進めています。
今後の対応	引き続き、効率的な管路更新や主要施設の設備更新を推進し、安定給水の確立を目指します。

事業名	雨水対策事業
目標	近年の激甚化・頻発化する豪雨による浸水被害の軽減を図るため、枇杷首、作道、小島及び堀岡地内の雨水対策事業を推進し、雨水対策施設の早期整備に努めます。
進捗状況	枇杷首、作道地内は主要な雨水対策施設の工事を発注し、小島地内は地権者と協議を行い用地の取得を行いました。堀岡地内は関係者と協議を行い事業化に向けた事務手続きを進めています。
今後の対応	雨水対策施設の工事などを進め事業の進捗を図り、引き続き、浸水被害の軽減を図るため、早期完成に努めます。

事業名	持続可能な事業運営
目標	「水道ビジョン」「下水道ビジョン」に掲げた経営目標の実現に向け、水道事業の第2期包括業務委託や上下水道料金システムの更新に着手し、事業の効率化を進め、将来にわたり持続可能な事業運営基盤の確立に努めます。
進捗状況	水道事業の第2期包括業務委託及び上下水道料金システムの更新については、順調に進捗しています。
今後の対応	包括業務委託については年内に次期受託事業者を選定し、来年度からの第2期に向けた準備を進め、上下水道料金システムについては、新システムのテスト稼働を実施したうえで、年度内に本格稼働を予定しています。

令和5年度 会計管理者「政策宣言」中間報告

会計管理者 渡邊 昇信

○ 令和5年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	公金の安全性確保を第一に、確実かつ有利な資金管理・運用に努め、公金の効率的な管理・運用を図ります。
進捗状況	公金の管理・運用については、安全、確実でかつ有利な定期預金等での運用を行い、利子収入の確保に努めています。
今後の対応	引き続き、安全、確実でかつ有利な公金管理と資金運用に努めます。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等の公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
進捗状況	金融機関2か所で現地検査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
今後の対応	各課・出先機関への現地検査（12か所予定）を来年2月末までに実施します。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令や会計規則等に基づき、厳正かつ迅速な出納審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
進捗状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を5月に実施しました。
今後の対応	引き続き、適正かつ確実な支払事務の執行に努めます。

令和5年度 教育委員会事務局長「政策宣言」 中間報告

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和5年度重要事業

事業名	教育振興基本計画の策定とコミュニティ・スクールの導入
目 標	令和5年度を初年度とする第3次射水市総合計画が策定されたことや昨今の教育を取り巻く状況の大きな変化を受け、令和6年度までを計画期間としている射水市教育振興基本計画を見直し、新たな計画を策定します。 また、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進めます。
進捗状況	教育振興基本計画については、学識経験者や各種団体の代表者を委員とする計画策定懇話会を設置し、本市教育における現状と課題の整理を行うなど、策定に向けて取り組みました。 また、コミュニティ・スクールについては、専任職員が各地域、学校・PTA、各種団体等の会合に積極的に出向き、制度の理解が深まるよう周知に努めました。
今後の対応	引き続き、計画策定懇話会委員からの幅広い意見を伺いながら、教育振興基本計画の策定に向けて取り組みます。 コミュニティ・スクールについては、学校、保護者、地域の共通理解を図りながら、地域の実情に応じた組織となるよう準備を進めます。

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目 標	休日の部活動の地域移行については、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動についても関係団体と協議を進め、全部活動の地域移行に向けた取組を段階的に進めます。併せて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に努めます。
進捗状況	令和4年度から実施している3競技（柔道、剣道、バスケットボール）に加えて、9月からモデル事業として3競技（卓球、ハンドボール、ソフトテニス）の休日の部活動の地域移行を開始しました。
今後の対応	モデル事業での成果と課題を検証するとともに、未実施の運動部、文化部も含め、関係諸団体と対話を重ねながら、休日の部活動の円滑な地域移行に向けて取り組みます。また、引き続き、学校の働き方改革に努めます。

事業名	市民のスポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目 標	現行のスポーツ推進計画が今年度までの計画期間となっていることから、スポーツ環境の変化や課題に的確に対応し、市民の皆さんがライフスタイルに応じてスポーツ活動に参画できるよう、令和6年度を初年度とする新たな計画を策定します。 文化財については、国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に努めるとともに、県事業に伴う埋蔵文化財の大規模発掘調査を進め埋蔵文化財の保護に努めます。また、市埋蔵文化財センターを活用した出土品公開や体験教室をとおして、埋蔵文化財の普及啓発に努めます。
進捗状況	第2次スポーツ推進計画の策定に向け、スポーツに関する意識調査を実施するとともに、現行計画の成果や課題等の整理を行いました。 国指定「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存活用計画については、文化財保護団体と作成に取り組んでいます。県事業に伴う大規模発掘調査や埋蔵文化財センターを活用した体験教室等を実施し、埋蔵文化財の保護や普及啓発に努めました。
今後の対応	第2次スポーツ推進計画については、本市スポーツ推進審議会において協議を行い、市民ニーズを捉えたスポーツ施策が展開できるよう計画の策定に努めます。 国指定「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存活用計画の令和6年度認定に向けて、引き続き作成作業を進めます。

令和５年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 竹内 秀樹

○ 令和５年度重要事業

事業名	防火安全対策の強化
目標	住宅火災による死傷者を減らすため、住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理の推進を目指し市民への周知に努めます。 また、幼年・少年消防クラブを通じて子供たちへの防火教育を行うとともに、引き続き高齢者を対象とした防火指導を行います。
進捗状況	住宅火災による死傷者を減らす取組については住宅防火診断を行い、今年度はこれまでに約１，５００軒の住宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置や維持管理をＰＲしました。 園児や小学生への防火教育については、園児に対しては、年長児６５０人が参加する防火を誓うイベントを開催し、小学生には避難訓練の際に防火対策の重要性を周知しました。
今後の対応	今後も引き続き住宅防火診断を行い、設置率の向上や維持管理の周知を図り、火災による死傷者ゼロを目指していきます。 小中学校の避難訓練において、消火器の取扱い方を指導し、児童生徒の防火意識を更に高めていけるよう取り組みます。

事業名	消防活動力の強化
目標	火災による延焼防止を目標に放水開始時間の迅速化を図り、消防団とも連携を強化した消火戦術により、効率的な消火活動を目指します。 また、救急需要の増加に伴い管轄区域以外への出動により救急車の現場到着時間が延びていることから、適正利用のＰＲや５台の救急車の効率的な運用を行い現場到着時間の短縮に努めます。
進捗状況	４年ぶりに射水市消防団消防操法大会を実施し、消防団員の消火技術の向上を図った。また、スマートフォンの地図上で消火栓や防火水槽を確認できるようにし、消防水利を迅速に把握することを可能にしました。 救急車の現場到着時間の短縮については、救急車の出動件数が昨年同期より３００件以上増加していますが、出動準備に工夫をしたことで約１分間短縮しています。
今後の対応	消防訓練において消防車から消防車へ中継送水する訓練を中心に、各分団の連携強化を図ります。 救急車の現場到着時間の短縮については、更に短縮に努め、増加する救急要請にしっかり対応できるよう体制を整えます。

事業名	消防力の維持・強化
目標	立地的に不都合のあった分団屯所を老朽化による建て替えと同時に移転をすることで機動力を高めます。また老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、消防力の維持に努めます。 引き続き消防団員の加入促進及び消防団員の装備更新を行い、安全性を向上させ消防団活動の強化につなげます。
進捗状況	二口分団、新湊分団の屯所を移転し、団員の駐車場やホース洗い場を確保し、活動しやすい環境となり機動力も高まりました。 消防ポンプ自動車の更新については、自動車メーカーからのシャーシ（車台）の供給が遅れていることから、例年より導入が遅くなる見込みです。 消防団員の装備更新については、防火衣及び防火帽を更新し、安全性が向上しました。
今後の対応	消防分団屯所については立地的に不都合なところがあることから、環境を整えるため、場所について引き続き検討します。 消防団員の加入促進については、あらゆる機会を捉えて重要性をPRし、市民への理解が深まるよう努めます。

令和５年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 宮本 康博

○ 令和５年度重要事業

事業名	健全経営に向けた経営の強化
目標	地域の中核病院として、市民から信頼され、必要とされる病院となるよう、救急医療や急性期医療体制を堅持するとともに、地域包括ケア病棟において在宅療養患者等の受け入れや在宅復帰に向けた支援を行うなど、急性期から回復期まで高度で幅広い医療を継続的に提供できるよう、経営の効率化を図り健全な病院運営に努めます。
進捗状況	救急搬送による急性期患者から、在宅復帰に向けた支援が必要な回復期患者まで、現在の病床機能を有効活用して患者確保に取り組み、前年度を上回る医業収益の確保に努めています。
今後の対応	引き続き、救急医療体制の充実や地域連携強化、地域包括ケア病棟を活用して患者確保に努めるとともに、費用の削減・見直しを図ることで、経営の効率化に努めます。

事業名	公立病院経営強化プランの策定
目標	医師不足や医療需要の変化等により厳しい経営状況に直面している中、地域が必要とする持続可能な医療提供体制を確保するため、経営強化に係る取組を示した公立病院経営強化プランを策定します。
進捗状況	内部、外部環境分析を踏まえ、病院運営協議会や病院内の専門委員会での協議を重ねて素案の策定に取り組んでいます。
今後の対応	策定した素案について、病院運営協議会での協議やパブリックコメントの意見を取り入れながら、本年度中のプラン策定に向けて取り組みます。

事業名	病院機能評価認定の更新
目標	患者サービスの向上や診療体制の充実、医療の質と安全の向上を図るため、日本医療機能評価機構が認定する「病院機能評価」の更新に向けて取り組みます。
進捗状況	各部門において医療の質向上等に向けた自己目標の設定や見直し、院内ヒアリング等を実施し、１１月に予備審査を受審します。
今後の対応	予備審査での指摘事項について、各部門において自己評価や取組内容の見直しを行い、病院機能評価認定の更新に向けて取り組みます。